

# 議会だより



## contents

- ◇トピックス…………… P2・P3
- ◇採決一覧表・質疑討論…………… P4・P5
- ◇一般質問…………… P6～9
- ◇委員会報告…………… P10～15
- ◇若狭広域行政組合・消防組合議会…………… P16・17
- ◇監査報告…………… P18
- ◇視察報告…………… P19
- ◇議員と語ろう会・編集後記…………… P20

佐伎治神社秋季例大祭(高浜地区)こども神輿：  
雨の降る中、一生懸命わっしょいわっしょい!

## 平成28年度一般会計歳入歳出決算を 賛成多数で認定する

TOPICS

過去最大である平成28年度一般会計歳入歳出決算を慎重審議の結果、賛成多数で認定した。

過去最大の一般会計となったのは、大型の継続事業の支出となったためである。

### 【主な大型事業の支出】

新庁舎公民館建設事業(27億2,572万円)

中央体育館整備事業(約18億7,346万円)

財政健全化判断比率は、基準を下回っているが、前年度に比べ将来負担比率が1.2%と算出されており、今後の借入金等財政運営を注視していく。

(井上順也)



中央体育館

### ●高浜町の健全化判断比率

区分	高浜町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－%	15.0%
連結実質赤字比率	－%	20.0%
実質公債費比率	8.4%	25.0%
将来負担比率	1.2%	350.0%

●財政健全化判断比率とは  
基準を超えると総務大臣に報告し、国の管理下で財政再建に取り組みなくてはならない。

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「－」表示となっています。

過去最大歳入総額149億円、  
歳出総額146億円の一般会計

## 用地費、補償費などの調査始まる！

TOPICS

国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した、若狭和田ビーチの素晴らしい景観を満喫できる視点場整備を行い、砂浜、海、青葉山が連動した撮影スポットとしても楽しめる施設とすることを目的としている。

ビューポイントが出来る事は、非常に重要であり有難いことだが、地元住民の意見を十二分に組み入れながら、慎重かつ丁寧に推進することを望む。

(大塚ひとみ)

H29年度事業費 2,475万7千円
主な内訳
物件調査業務 【214万円】
和田海岸視点場整備実施設計業務 【360万円】
用地取得費 【1,044万円】
物件補償費 【700万円】等
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 【1,250万円】充当



若狭和田ビーチ視点場設備予定地

若狭和田ビーチで  
景観満喫スポット整備！

※和田海浜臨時派出所解体工事、視点場整備工事については、平成30年度当初予算組み予定。

## 地域防災力の強化と地域住民のコミュニティの向上のために！（地域の安全は地域で守る）

TOPICS



自主防災会に除雪機を貸与することにより、集落内の生活道路など、行政による除雪が行き届かない箇所について、除雪時の地域防災力の確保など、住民同士の助け合いによるきめ細やかな除雪体制の強化を図るため、自主防災会貸与用の除雪機の購入を行うものである。

(西野朋宏)

### 【購入機種等】

ホンダハイブリッドHSM1390i (JN) (エンジン防音カバー・保管用ボディカバー)

基本性能	
最大除雪量	83t/h
除雪幅	92cm
最大投雪距離	19m



生活道路除雪作業

### 【購入台数】

11台(総額：666万360円)

### 【納期】

平成29年12月22日

### 【選定理由】

広範囲にわたる積雪を簡単に素早く一掃でき、免許が要らないなど、どなたにでも操作が可能で、低騒音設計の機種を選定。

自主防災会貸与用備品(除雪機)  
購入契約について

## 旧塩屋？空き家情報バンク？移住定住総合情報バンク？

TOPICS

移住定住総合情報バンクとして利用されていた旧塩屋。今回の議案第62号では、新たに名称を「高浜まちなか交流館」とし(以下、交流館)維持管理や、設立目的、使用規則など詳細、名称の制定が行われた。

交流館では今後、老朽化や耐震などの改修工事が行われ、会議室や、ゲストハウス、そして空き家情報バンクの拠点として生まれ変わる。

買い取りや、改修工事に多額の予算が投じられている旧塩屋、改め交流館であるが、未だ住民への理解や、空き家情報バンクとしての費用対効果は低いように感じる。

「高浜まちなか交流館」と新たにリニューアルする上で、新たな名称の認知や広報など、今後も力を入れて、機能するよう議会としても注目していく必要がある。

(児玉千明)



旧塩屋外観

利用料金	
会議室(1時間)	【100~200円】
ゲストハウス(宿泊1泊)	【1万円】
キッチン利用(月額)	【3万円】

旧塩屋「高浜まちなか交流館」  
とする条例制定！



## 9月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第59号	平成29年度高浜町一般会計補正予算（第2号）	予算決算	全員賛成で可決	P2・P5 P10～11
議案第60号	平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第61号	平成29年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P13
認定第1号	平成28年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定	予算決算	賛成多数で認定	P2・P5 P10～11
認定第2号	平成28年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P13
認定第3号	平成28年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P13
認定第4号	平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P13
認定第5号	平成28年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P13
認定第6号	平成28年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で認定	P12
認定第7号	平成28年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で認定	P5・P12
認定第8号	平成28年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P12
認定第9号	平成28年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P12
認定第10号	平成28年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P12
認定第11号	平成28年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P5・P12
議案第62号	高浜まちなか交流館の設置及び管理に関する条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P3・P5 P12
議案第63号	自主防災会貸与用備品（除雪機）購入契約	総務産業	全員賛成で可決	P3・P12
議案第64号	原子力防災対策施設（中央体育館）設備設置工事請負契約	厚生文教	全員賛成で可決	P13
同意第5号	教育委員会委員の任命	—	全員賛成で同意	—
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	—	適任	—
請願第3号	実効性ある避難計画が策定され町民の納得を得るまでは、大飯原発3、4号機の再稼働には同意しないことを求める請願	原子力対策	賛成無しで不採択	P15
陳情第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	総務産業	全員賛成で採択	P12
陳情第4号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	総務産業	賛成多数で採択	P5・P12
発委第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	総務産業	全員賛成で可決	P5・P12
発委第3号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出	総務産業	賛成多数で可決	P12

# 本会議での質疑・討論

## 質疑 議案第59号

大塚ひとみ議員

和田海岸視点場整備事業推進にあたり、和田地区民とのコンセンサスと経緯は

産業振興課

用地費等の調査を行った上、改めて関係者としてしっかり協議を進める。

## 質疑 認定第11号

小幡憲仁議員

上水道の給水量が低迷している。水源地の給水能力に余裕があるのであれば給水量増加に向けた手当てをすべき

上下水道課長

過去の給水量からすると水源地能力には問題ない。一定量の給水量確保は大切であり検討したい。

## 討論 議案第59号

賛成討論 井上順也議員

和田海岸視点場整備については

分の負担は必要である。各事業の問題点・課題の改善を要望する。

## 討論 認定第7号

反対討論 釣本音次議員

提案した事業の方が総工費も安く旧送水管を使って畑川へ放出し続けられあらゆる面で優位性がある。

賛成討論 山本富夫議員

雨水調整池完成により本年度台風2回、集中豪雨1回の災害対応がなされた。費用対効果(B/C)が最もなされている施設である。

## 討論 議案第62号

賛成討論 児玉千明議員

未だ町民に理解されていない旧塩屋に対し、より理解される努力をするよう意見を述べたうえで賛成。

## 討論 請願第3号

賛成討論 井上順也議員

地元おおい町議会も同意している。今後の地元おおい町や県の判断を尊重し反対とする。

## 討論 陳情第4号・発委第2号

反対討論 釣本音次議員

財源が厳しい理由で安易に税を国民に押し付けるな。現在でも重税感があり新たに課税する陳情には反対する。

賛成討論 児玉千明議員

今後の日本国土の保全&整備に必要な税であるため賛成。しかし、細かい法制定や使途目的への議論が必要。





### 磯部 武史 議員

## Q 城山周辺再整備計画について

### A 地域の方々や関係事業者でワークショップ

城山荘に  
ついては、  
32年度まで  
の後期実施  
計画で検討  
しリニュー  
アルはそれ  
定を行う。  
ア計画の策  
構想、エリ  
通じ、基本  
シヨップを  
者でワーク  
や関係事業  
者でワーク  
者でワーク  
者でワーク



城山から望む漁港と青葉山

**Q**・城山荘のリニューアル計画はどうか。民間参入を見据えた城山荘の再整備とあるが説明を。  
・のり面の崩落対策や史跡を含めた公園全体の保全計画はどうか。  
・財源計画はどうか。  
高浜町総合計画の後期実施計画で、城山荘を含めた公園全体の再整備について書かれている。

**A** 自然環境資源を最大限に生かした観光拠点として、地元

以降になる。  
史跡や公園全体の保全計画は、室町時代から続く景勝地で、歴史的背景を考慮しながら保全計画を立てる。  
公園部分の財源は、「県の周遊・滞在型観光推進事業補助金」を検討中で、城山荘は基本計画を策定する中で整備の方向性と照らし合わせ財源を模索していく。



### 横田 則孝 議員

## Q いきいきタウン高浜の今後の取り組みについて問う

### A 自ら事業主体となり新たな大規模園芸事業を立ち上げる



ハーバルビレッジ

**Q** 親方日の丸ではなく、採算を考えた企業理念に基づいた経営感覚で取り組むべきである。また、財務経営の抜本的な見直しが必要と考えるが、今後どのような取り組みなのか。  
**A** 広がりすぎた業務分野を整理し、次年度に向けて、町からの長期融資や運転資金の確保に努め経営改善に取り組む。また、第3セクターたるいきいきタウン高浜が公共的な側面からも高浜町に便益を還元する存在として努力をする。



庁舎

**◆町の財政状況について問う**  
**Q** 高浜町の財政状況は、平成28年度の経常収支比率は88・1%と多少の改善がみられるが、自主財源比率は、前年度より50・5%と上昇している。高浜発電所の再稼働やそれによる安全対策工事によって、増税収入が見込まれるが、今こそ原点に立ち戻り、財政の健全化、業務や事業のスリム化効率的な行政運営を進めるべきである。「入るを計り、出るを制す」と考える。  
**A** 町財政を取り巻く状況は、決して楽観できる状況ではなく、より効率的な行政運営、身の丈に合った財政規模への縮減に努めていく。

## Q セーリング競技の国体とプレ大会での経費負担は

A 「特殊競技扱い」だが  
本大会含め約3億円の見込み

上尾 徳郎 議員



中町商店街

Q 地元業者の関わりは。

A 特殊な設備や資材が必要だが、宿泊や飲食等を含めて地元業者発注で準備。

Q 国体後のセーリング競技への取り組みは。

A 大会等の開催誘致には多額の経費が必要となり、慎重に検討が必要。

◆まちなか賑わい再生は

Q 役場や農協の移転により商店街への人の流れが変

わった。賑わい再生への取り組みと漁村ゾーン活性化計画との関連は。

A 旧塩屋を改修し賑わい創出・まちなか再生の拠点施設「高浜まちなか交流館」として、新たな管理条例の指定管理者による運営での活性化を図る。漁村ゾーンの6次化施設実現による来訪者のまちなか流動で賑わい再生への波及を一体性をもって検討していく。

## Q 地下埋設物の維持管理状況について

A 効果的な維持管理に努める

井ノ元 康夫 議員



Q 地下埋設物による被害は、大小様々であるが、

JR博多駅前で起きた地下鉄工事での陥没は、衝撃的な報道であった。町内では、そのような規模の事故は、考えられ無いが、地下埋設物による小規模な事故は、各地で多数報告されている。

地下埋設物の維持管理状況について問う。

A 本町は平成21年から、設置工事でお世話になった高浜町管工事組合に業務委託し、下水道管の清掃点検を全国でもいち早く着手している。

現在まで、大規模な補修場所は発見されていない。道路舗装面では異常

を確認し適宜補修している。

10年間の点検成果を踏まえ維持管理計画の見直しを行い、さらに効果的な維持管理を着実に行う。道路維持管理での道路脇の除草、樹木伐採については、回数を増やす、危険度の高い場所から伐採する事を検討している。



管路清掃



井上 順也 議員

## Q 3世代同居 近居施策の充実を図れないか

A 居住誘導区域での空き家利用の  
優遇策も検討していく



3世代同居近居



ヒアリ

Q 親との近居や将来の同居を誘導するために、住居取得や賃貸住宅の家賃補助はできないか。

A 現在の住宅施策としては、空き家や既存住宅の有効活用を図るための補助制度を充実させることが優先事項と考えている。

空き家対策事業が進み、空き家の解消が図れるようになった後に検討する。

◆外来生物の対応状況について

Q ヒアリ等外来生物に対する高浜町の対応手順、町民への周知はどのようになっているのか。

A 現在、国際港である内浦港で、ヒアリは発見されていない。

発見時の対応は、国の「特定外来生物被害防止基本方針」に基づき対応する。

今後は関係各所の情報に留意しながら適宜周知していく。

## Q エネルギー基本計画の改訂に 対する町長の考えを問う

A 原子力発電所の新設・  
リプレース方針の明確化が望まれる

小幡 憲仁 議員

Q エネルギー基本計画見直しに向けた政府の議論が始まった。

原子力発電の立地町長として、見直しに際し原子力政策で望むことは何か。

A 原子力発電の新設、リプレース方針を示すことに加え、パリ協定の目標達成に向けた将来の原子力政策を明確にする必要がある。

政府に対しあらゆる機会に要望する。

◆リゾート新線中止に伴う整備基金の使途

Q 北陸新幹線小浜ルート確定で基金の使途が宙に浮いた。各市町への返還も選択だが小浜線強靱化などに投資すべき。

A 県・市町の協議となるが高浜町は基

金返還ではなく小浜線強靱化などの事業に投下するよう求める。

◆介護保険料の料金設定

Q 現行の介護保険料は、過去の決算から見ると値上げ幅が過大といえる。次期改定では値下げも視野に検討を。

A 給付費が推計を下回り、保険料に余剰が出た。次期保険料額は前回のような大幅な変更はない。



強靱化が求められるJR小浜線

## Q 鳥獣害事業において臨時職員、勤務中の捕獲報奨金は公務員法違反では

A 違法性がある可能性がある

児玉 千明 議員



Q 鳥獣害事業において、職員に対し、特別危険手当を支払わず、勤務中に捕獲報償金を支払っていたと、説明があったが、公務員法違反に抵触しないのか。

A 高浜町顧問弁護士に問い合わせたところ、「違法性がある可能性がある」とのことであった。よって29年度からは、雇用形態を変え、違法性がないように対処。

Q 対象となる職員や、高浜町を守るためにも、「可

能性がある」というリスクは0にしておく必要があると思うが。

A 29年度からは理解したが、過去の清算はしないのか。

A 28年度は「移行期間」ということで理解してほしい。

児玉：理解&納得できない。(よって一般会計は反対)

その他、海水浴場の今後について、武力災害について、保育所での国歌教育について質問

## Q 汐入雨水施設の運用は適切か

A 自動運転されており適切である

釣本 音次 議員



◆事代子生線の外灯設置について

Q 事代子生線の火葬場から坂田グリーンタウンまでが暗く車でないといけないのが困難。夜に鹿、猪の出没もあり非常に危険である。町長の「安全なまちづくり」に反するのではないか。

A 現実を認識しており外灯設置に向けて検討中。電柱設置について小浜土木事務所と協議中である。

◆汐入雨水施設の運用について

Q 汐入1号雨水施設が運用開始されこの施設の稼働



郷土資料館近くのセンサー

が3回あり自動運転であったのか。

A 自動運転である。

Q 雨水施設の稼働水位はセンサーが取り付けられて道路より4cm低いと認識しているがそれより低いレベルで稼働するのは、手動運転しか考えられない。再度大きく自動運転か。

A 自動運転である

(汐入雨水施設の稼働水位の設定が正しいのかを追求するのがテーマであったが初めてから議論にならず途中で断念した。)

# 平成28年度決算認定 146億5,913万7,353円

## 予算決算

### 常任委員会報告

委員長 上尾 徳郎

では18歳までの子ども医療費を県内全ての病院で平成30年4月より受給者証の提示により窓口無料となる。県外の医療機関では従来通りの「償還払い」である。

●障害児給付事業 410万1千円

町内で障害児通所事業の放課後デイサービスを開始され、町内利用者3名の給付費と児童の発達支援で新規利用者による不足分の給付。

【商工費】

●ブルーフラッグ認証取得・維持事業 2475万7千円

和田海岸視点整備事業について事業計画の経過と地元理解は

和田地区委員会の要望書に基き、視点整備を含めた海辺の空間、環境整備を検討するとの回答を提出した。土地の問題については周知や確認の不備があったが最終確認はとった。

●認定第1号  
■平成28年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定(第1号)について  
歳入総額は149億9802万1367円(対前年度比28.8%増)歳出総額146億5913万7353円(同29.9%増)の差引額3億3888万4014円の黒字。

平成30年夏過ぎより和田臨時派出所を解体し整備にかかり年度内の完成を計画している。

行政主導でなく住民の意見を聞き民間主導で事業推進するべきとの意見が多数の委員よりあった。



和田視点整備予定地

【総務費】

情報セキュリティ、不正アクセス抑止のアクセスログの確認は

確認はしていない。情報セキュリティの厳格化を強化する。

地域おこし協力隊の受け入れ態勢・方向は

町に必要な業務人材を明確にして募集をかける。任期終了後も取り組みに対して支援をしていく。

ふるさと納税の費用対効果、返礼品の特産品開発は

寄付金額は725件、2092万5千円で返礼品(送料含)ふるさとチョイ



ふるさと納税返礼品

◇9月11日(月)・12日(火)  
●議案第59号  
■平成29年度一般会計補正予算(第2号)  
予算補正額の歳入歳出それぞれ2億6590万円を追加し、歳入歳出それぞれ101億3988万円とする。

【民生費】

●子ども医療費助成事業

4833万3千円

子ども医療費の窓口無料化とは

福井県内の医療機関での「現物支給」に伴うシステム改修委託費。高浜町

ス運営費、システム手数料などの支出がある。特産品開発委託料約400万円だが現状は進んでいない。

#### 【民生費】

##### 介護用品支給対象の拡大は

支給枚数と実績のばらつき課題や対象用品の拡大を総合的に検討・見直しを図る。

#### 【衛生費】

##### 地域プライマリ・ケア講座について

講座寄付金は医師分と高浜病院の看護師研修分がある。来年度、寄付講座の名目も含め内容を健康まちづくりも加味した講座を検討。

#### 【衛生費】

##### シルバー人材センターの棚田米と旅行取扱業務について

ふるさと納税返礼品として地産ブランド米化や、有資格者の会員によるツアー企画等に取り組んだ。成果としては予想を下回った。

#### 【農林水産業費】

##### 福井和郷の工期延長について

3期工事の閉鎖型植物工場の設備見直しにより来年1月まで延期。町内者雇用は正社員4名、パート43名である。多額の町費を投入しているが地元貢

献度が低いとの意見があった。



福井和郷 野菜工場全景

##### 6次産業施設の基本設計などの開示は

水産振興協議会の事業の資料として使用。

維持管理経費やランニングコストなども含め時期を見て議会に示す。

#### 【商工費】

##### 城山公園の進入路整備について

今年の夏の状況を踏まえた駐車場や道路、公園の利用、浴客の状況等の質疑が多くあった。



城山公園進入路整備

#### 【土木費】

##### 柿ヶ渡線新設事業について

詳細設計ができ着工準備が出来た。5ヶ年計画で国の補助金をもって整備する。

#### 【消防費】

##### 消防訓練の実施は

原子力の避難訓練、水防訓練、JRRの津波避難訓練。要介護者の避難訓練は原子力の避難訓練のみであるが、自主防災組織による軽微な訓練を自主的にされている。

#### 【教育費】

##### 通学助成について

制度改正により今年の4月より滞納世帯についても助成している。

##### 福井国対に向けて職員の体制は

28年度は1名専属から29年度より臨時職員を含めて7名体制で取り組んでいる。セーリングプレ大会での課題や国体後の取り組みについての質疑あった。



セーリングプレ大会の会場

# 台風・豪雨で雨水調整池 災害防止対応となる

## 総務産業

### 常任委員会報告

委員長 山本 富夫



城山荘視察

あるのか。

#### ●認定第9号

埋立事業の費用は約33億7000万円、現在は太陽光とか埋立地の活用を実施している。

和郷で地代年間710万円、太陽光で130万円の収益がある。現在のところ採算については、考えていない。

#### ●認定第10号

平成28、29年には1件ずつ契約。坂田グリーンタウンの行政区として自治運営がないのは問題ではないかとの意見があった。

#### ●議案第62号

利用料金は、1部屋1泊の代金1万円。民泊の圧迫もあるので、学生とかイベントの人達に、1部屋1万円としている。人数ではなく、食事もなし。今後の見通しは、計画的に大改装していく。レンタル布団等、色々な話をして金額を決めていく。

#### ●陳情第3号

前年度から引き続き出ている陳情で、地方は人口減少をはじめ地方財政に取り巻く環境は厳しく引き続き充実、強化を求めるときとの意見が出た。

#### ●陳情第4号

税負担は、環境対策の上でも森林が最も大事であることから賛成すべきとの意見が出された。

◇9月14日(木)

#### ●認定第6号

B/C費用対効果で言うておくことではないかとの質疑に対し現状を報告として今夏は、雨が多かったため、給水量に問題はなかった。

#### ●認定第7号

雨水調整池での降雨時のセンサーは自動に作動したのかとの質疑があり、雨水調整池降雨時自動センサーをつけられた位置の断面図資料配布があり、説明の結果、問題なく7月、8月の台風と集中豪雨時に自動作動しどちらも降雨災害に至っていない。また、センサー

の誤作動が無いように10秒間の過去のセンサーデータをとらえており異物等による誤作動は発生しないとの回答があった。

#### ●認定第8号

処理場について、三松処理場が公共下水に変更されたが、青郷処理場も将来的に公共下水に送る計画はあるのかとの質疑に対し。今のところ新しい管路等を施工するのに大きな予算も発生するので考えていない。との回答があった。

#### ●認定第11号

上下水道センターを新設する計画は

#### 町内視察

城山荘の現状を視察し老朽化した室内の状況は悪く、指定管理を含め今後の対応が急務であることを確認した。若狭和田海水浴場の視点場整備に伴う現況と次年度夏以降の臨派撤去について確認した。



和田海岸視点場予定地視察



# 原子力防災対策施設 (中央体育館)設置

## 厚生文教

### 常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子



エアドーム式陽圧システム

◇9月15日(金)

●議案第60号

■平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

特定健診にかかる事務補助のアルバイト賃金が不足のため必要額を計上する。(申し込み対象が増えたためである)

●議案第61号

■平成29年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成28年度分の介護給付費や地域支援事業にかかる国庫負担金等が確定した。

国、県等への返環金が生じたための補正計上である。

●認定第2号

■平成28年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

歳入13億3564万2955円。歳出13億2641万6740円で歳出で、前年度に比べて増加した主なものは保険給付費や、共同事業拠出等である。

●認定第3号

■平成28年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

診療実績は、診療日数が256日で、

診療件数は8668件、1日当たりの診療件数は、33・9件で診療収入は678万688円である。  
平成27年度に比べ7.6%の減である。

と比較して748万587円の増加である。

●認定第4号

■平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

実質収支額は780万5521円。後期高齢者医療広域連合の納付金が9142万円で、歳出全体の96・9%を占める。

■原子力防災対策施設(中央体育館)設備設置工事請負契約  
高浜地区における在宅避難行動要支援者住民や避難施設運営職員等、約150人が3日間の避難を想定し、中央体育館の中に、エアドーム式陽圧システム(エアースイッチシステム)を設置し、1人3㎡の避難スペースを確保する。

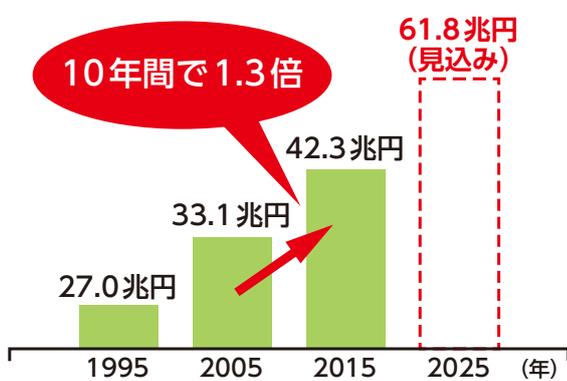
●認定第5号

■平成28年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

保険給付費が9億1928万986円、歳出全体の9.2%を占める、前年度

工事中でも体育館の使用はできる。

### 国民医療費の推移



### 医療費の財源構成

税金	7.3兆円
74歳以下の方の保険料	6.4兆円
75歳以上の方の自己負担	1.3兆円
75歳以上の方の保険料	1.2兆円

※後期高齢者医療制度の場合

# 他市町の地方創生事例について意見交換

## 人口減少対策調査

### 特別委員会報告

委員長 井上 順也

◇9月19日(火)  
他市町の地方創生事例(新たな雇用づくり)について説明を受け、当町の29年度総合戦略と合わせて意見交換をおこなった。

#### ■企業誘致の方向性

20から30代が高浜に住むための大きなポイントは、雇用があるか、自分のやりたい仕事があるかである。日本各地の地方部では、「サテライトオフィス型」の企業誘致に焦点を移し変えて人口減少問題対策をとる自治体が急増している。高浜町の可能性としての企

業誘致数は、「敷地・補助制度の提案」から「ライフスタイルの提供」として、サテライトオフィスプラスアルファの仕掛けづくりをどう用意するかが大事な視点である。

サーフアーの方などにターゲットを考えていないか

高浜町の特長の海をテーマに動いている。

導入コストとしての家賃の無料化なども誘致につながるのでは

いろいろな補助制度を検討している。

ターゲットを絞って企業を誘致してモいのでは

パン屋がないならパン屋を呼ぶなど、業種を絞るのも大事。

高浜発電所に毎日3千人の方が働いている。高浜町の方の雇用としていけないか

高浜町にとって非常に重要なポイントである。いい方向に持って行きたい。若い人たちが入ってくる環境が大事である

空き家とか空き民宿の活用なども合わせて進めていきたい。

受け入れ体制も大事である

受け入れモデル地域のようなものを作っていくことも考えている。

雇用のマッチングが大事  
マッチング作業を強化する。



サテライトオフィス

◇7月13日(木)

#### 旧塩屋の視察

人口減少問題対策調査特別委員会  
で旧塩屋の運営状況と改修工事の概要説明を受け、意見交換を行った。

NPO塩屋といきいきタウン高浜の運営はどうか

NPO塩屋に業務全体(維持管理など)を任せており、いきいきタウンは、情報発信を行っている。

#### ■旧塩屋の体制は

常時が1人、あとは予約状況などにより、アルバイト2〜3人に対応している。

#### ■大学生の受入れとは

空き家を賃貸として契約している。Nターン(学生の時に訪れたが大学生

が、大人になってまた訪れる)を期待している。

成約済みの賃貸物件は、移住によるものか

イターンや店舗として利用しているところもある。

・いろんなことを一ヶ所でやろうとし過ぎではないか。建物自体も魅力がない。

・前を通った人が、あそこは何をしている所か分からないという声を聞いた。



旧塩屋での意見交換

# 嶺南地域有害鳥獣処理施設(焼却施設)の視察

## 鳥獣害対策

### 特別委員会報告

委員長 西野 朋宏

◇9月19日(火)

#### 【嶺南有害鳥獣処理・加工施設の概要】

この施設は、福井県嶺南6市町が共通する課題である有害鳥獣の処理及び利活用問題について、6市町が共同で、平成19年度に「嶺南連携事業推進協議会」を設置し、問題解決のための協働として、平成23年度に全国に先駆けて有害鳥獣を焼却する専用の施設として建設し、平成24年4月から同施設の運用を開始、平成25年度には食肉処理施設及び専用道路が完成した。

#### 【鳥獣の計画処理数】

焼却施設では、当初年間5千頭(シ

カ3千頭、イノシシ千頭、他千頭の処理数を計画していたが、平成26、27年度には計画数の約2倍の処理頭数となり、年々増加傾向にある。

#### 【改修計画案】

処理頭数の増加に伴い、主然炉及び再然炉内の耐火煉瓦の劣化やセラミック板の剥離、落下の破損が進行し、改修の必要性がある。

計画案では、

- ・平成30年度 再然炉改修
- ・平成31年度 主然炉改修

となっており、高浜町議会は視察により、施設の破損状況及び改修の必要性を確認した。

#### 【大規模改修の負担割】

改修費用の負担割については、6市町で均等割40%+重量割60%で検討されている。



嶺南地域有害鳥獣処理施設(焼却施設)視察

# 大飯原発再稼働に同意しない請願不採択

## 原子力対策

### 特別委員会報告

委員長 山本 富夫

◇9月20日(水)

#### ●請願第3号

■【実効性ある避難計画が策定され町民の納得を得るまでは、大飯原発3・4号機の再稼働には同意しないことを求める請願】

先般おおい町議会が再稼働賛成の意思が示されており、高浜原発3・4号機と変わりなく再稼働することは、おおい町議会の意見を尊重すべきと意見が出され請願は不採択に決した。

#### (株)原子力発電訓練センター視察

敦賀市にある訓練センターを視察し

た。同センターは主に原子力発電所PWRの中央制御室で実際の運転を想定したあらゆる状況や事象に基づいた訓練がなされていた。特に原子力災害過酷事故についても対応できるよう緻密な訓練がなされていた。新型中央制御盤対応シミュレーター導入によりアナログからデジタル対応へと格段に安全運転対策が施されていた。



原子力発電訓練センター視察のようす

# 若狭広域行政事務組合議会がスタート

## 若狭広域行政事務組合

代表議員 山本 富夫



若狭広域行政事務組合4市町の首長

初議会で多くの案件が審議された。去る平成29年8月1日第1回若狭広域行政事務組合臨時議会が若狭町上中庁舎3階議場で行われた。

開会にあたり議長、副議長選挙が行われた。

議長に若狭町議会議員松本孝雄氏、副議長に小浜市議会議員清水正信氏が選任された。

その後、議会開催における事務組合議会発議が提出された。

### ●発議第1号

■若狭広域行政事務組合議会会議規則

### ●発議第2号

■若狭広域行政事務組合議会傍聴規則

### ●発議第3号

■若狭広域行政事務組合議会事務局設置条例

### ●発議第4号

■議会の委任による管理者の専決処分事項の指定

以上4件が一括審議され

【全員賛成で可決】

松崎管理者から承認案3件、専決案16件が上程されその提案理由が説明された。

### ●承認第1号

■専決処分の承認

(若狭広域行政事務組合の休日を含める条例外13件)

### ●承認第2号

■専決処分の承認

(若狭広域行政事務組合指定金融機関の指定)

株式会社福井銀行に決定。

### ●承認第3号

■専決処分の承認

(平成29年度若狭広域行政事務組合一般会計暫定予算)

歳入歳出暫定予算の総額は、歳入歳出それぞれ799万6千円と定める。

主な歳出は、総務費、民生費、衛生費として一般廃棄物処理施設先進地視察等で承認3件とも

【全員賛成で可決】

引きつづき、松崎管理者から議案9件が提案されその提案理由の説明がなされた。

### ●議案第1号

■若狭広域行政事務組合議会の定例会の回数を定める条例

定例議会回数は毎年2回とし、3月、12月の案が出され慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

### ●議案第2号

■若狭広域行政事務組合監査委員条例  
条例内容の審議が行われ  
慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

### ●議案第3号

■若狭広域行政事務組合暴力団排除条例  
管理者の属する市町の暴力団排除条例の例によるものとする内容で  
慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

### ●議案第4号

■若狭広域行政事務組合議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例  
議会の議決に付さなければならない契約は、予定価格1億5千万円以上の工事または製造の請負とする。  
議会の議決に付さなければならない財産の取得または処分は、予定価格2000万円以上の不動産または動産の買入れもしくは売り払い(土地については、1件5000平方メートル以上)のものに係るものに限る。または不動産の信託の受益権の買入れもしくは売払いとする。

慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

## ●議案第5号

■若狭広域行政事務組合財務状況の作成および公表に関する条例

条例内容について  
慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

## ●議案第6号

■若狭広域行政事務組合と福井県との間の公平委員会の事務の委託

若狭広域行政事務組合の公平委員会に関する事務を福井県に委託するものである。

慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

## ●議案第7号

■平成29年度若狭広域行政事務組合予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ7244万4千円になった。  
慎重審議の結果

【全員賛成で可決】

## ●議案第8号

■監査委員の選任

見識を有する者のうちから選任する者として、おおい町監査委員、猿橋繁好氏が選任された。

## ●議案第9号

■監査委員の選任について

議員のうちから選任する者として高浜町議会議員、横田 則孝氏が選任された。



若狭広域行政事務組合議会議場



# 日本電気株式会社 契約金1億6,956万円

## 若狭消防組合議会

委員長 西野 朋宏

### 第179回 若狭消防組合議会臨時会

◇7月26日(水)

議長選挙が行われ西本清司議員(小浜市選出議員)が当選された。

若狭消防組合

松崎晃治管理者より、議案1件が上程

## ●議案第1号

■高機能消防指令システム部分更新業務委託契約の締結

去る平成29年7月12日に、一般競争入札を行い相手業者と仮契約までの手続きを完了し、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決により本契約とする。

【全員賛成で可決】

議会傍聴に  
お越しください



会議当日は議会事務局にて受付致します。  
事前予約は不要です。  
次回定例会は12月です。

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>  
高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

# 平成28年度決算監査結果報告

代表監査委員 松本 有策 監査委員 横田 則孝

## ■一般会計の決算概要について

●歳入総額149億9802万1367円(対前年度比28・8%増)

新庁舎建設をはじめとする大規模プロジェクトの竣工が続き、基金から27億2403万6277円を繰り入れたことと、新たな起債による借入金が22億8700万円となった。

町税は全体で80%増。固定資産税は、発電所の大規模償却資産の増加等により11・6%増の30億2114万3334円となった。

国庫支出金は「社会資本整備総合交付金」等で18%増の27億7179万6431円となった。また本年度は自主財源の増加によって地方交付税の不交付団体となったため、普通交付税はゼロであった。

●歳出総額146億5913万7353円(対前年度比29・9%増)

新庁舎公民館建設事業に27億2572万7823円、中央体育館の改築工事と施設用備品の購入を併せ18億7346万5088円を支出。

歳出不用額は前年度より34・8%多い5億8347万9565円となつ

た。経費削減の努力の結果ともいえるが、予算が過大であった可能性もあり、予算編成には一層の厳密さを求める。

●特別会計の決算概要について

●歳入総額42億751万7753円、歳出総額41億4213万4346円、(対前年度比 歳入6.4%、歳出7.2%それぞれ減少)

介護保険では、被保険者の所得構成の変化により保険料収入が404万3850円増加、実質収支が4835万1671円の黒字となった。昨年度、保険料の増額改定を行った効果とみられる。

公共下水道事業特別会計では、雨水対策整備事業費を主体とする施設整備費が減少し、歳入歳出総額とも31・7%減少した。

集落排水事業特別会計は、歳入歳出とも70%の減少。三松地区農業集落排水処理施設の公共下水道への移行事業の終了が主な要因である。

公有水面埋立事業特別会計では、歳入歳出とも3億1894万3947円であり、前年度より8022万8604円の増加となった。今年度末

に未償還元金1億5563万円の繰り上げ償還を行い平成29年3月議会において条例が廃止され閉鎖となった。

## ■基金の状況

平成28年度中に24億7811万366円減少し、合計45億8055万9078円となった。

大規模事業実施に伴い、事業費等に充当したことによるもの。

## ■地方債の状況

元利を合わせて10億4851万1323円の償還、22億8700万の借入れを行い、残高合計は104億2748万8232円と高水準。今後も後期実施計画推進のための新規起債も検討されており、長期的展望を踏まえた財政運営を求める。

## ■町財政全般の状況

町税の増加により自主財源比率が前年度から6.9ポイント増加し、50・5%となった。財政の自由度を示す経常収支比率についても、88・1%と1.6ポイント改善した。町の財政力を示す指標である財政力指数は、0・982。他の地方公共団体と比較すると高い数値であり、今後も発電所関連を中心とする町税収入の増加によってさらに改善、規律ある財政運営を求める。

財政健全化判断比率の現状は問題のない数値を示しているが、将来負担比率については若干数値の悪化がみられ

るため、留意が必要である。

## ■工事監査・出納検査・行政監査の状況

工事監査では高浜町中央体育館改築工事等3件について適切十分な施工がなされていることを確認した。

例月出納検査においては、現金残高口座残高の確認を徹底し、適正に執行されているかを確認した。

又、行政監査として随意契約について抽出検査を行い、規定通りの運用がなされていることを確認した。

## ■むすび

高浜町では大型プロジェクトがほぼ完成しハード面が著しく充実した。平成28年度からは後期実施計画に入り、今後も大型の資金需要が予想されている。一方、本町の基幹産業である原子力発電高浜発電所3・4号機が新規制基準のもと再稼働を果たし、又、国内初となる1・2号機の40年を超える運転期間の延長についても安全対策工事が進められており、それらによる好影響が町財政を支えると期待されているが、今後とも長期的な展望のもと経済情勢を的確にとらえ、事業のスクラップアンドビルドによって過大な将来負担を回避しつつ、「選ばれる町・高浜町」の建設へ向けて積極果敢な取り組みを求める。

# 原子力関連施設視察研修報告

副議長 小幡 憲仁



原子力視察研修

策（ポンプアップ）、建屋周辺に凍土壁を形成して地下水を遮断する対策、汚染水タンクの改善、汚染水の放射性核種の除去対策などについて説明を受け現地確認した。

また、4号機のプールから燃料を取り出す巨大な構造物や、水蒸気爆発によって破損した原子炉建屋のがれき除去の状況などを現地確認した。

発電所構内には約5千人の作業員が復旧・廃炉作業に従事し、着実に発電所の状況が改善されつつある状況が理解できた。これまでの関係者の労苦に敬意を表し今後の作業の着実な遂行に期待したい。

## ■女川町議会との意見交換

女川町役場で

女川町議会議員との意見交換を行った。牡鹿半島全体が1メートル沈下し、引き波で女川湾の底が見えたといわれる大津波が



女川町議会との意見交換

直撃し町が消滅するような被害を受けた女川町であるが着実に復興を遂げつつあった。

震災で議員にも犠牲者を出す中、議会を早期に開いて責任を果たされたことなど貴重な体験談をお聞きできた。

## ■東北電力女川原子力発電所

東日本大震災で震源地に最も近い原子力発電所は女川原子力発電所である。地震で激しい揺れを感じしたが、外部電源が1回線確保でき（非常用電源も稼働可能）、原子炉は安全に停止した。大津波も襲来したが設計段階で十分な敷地高を確保していた結果津波による大きな被害もなかった。

安全対策について説明を受け現地確認を行った。住民の避難場所として発電所構内を一部開放し住民が避難された時の様子も伺った。

## ■東北電力中央給電指令所

中央給電指令所の視察では訓練用シミュレーターで東日本大震災時の大停電を模擬体験できた。送電鉄塔が津波で流されるなど地震規模の大きさを実感した。

## 国体PRポロシャツを着て気運を醸成

9月定例会の本議会初日、一般質問日と2日間行政と議員全員が一丸となってプレ大会、国体本番の気運を高める趣旨で濃紺の国体PRポロシャツを着用し議会に臨んだ。

ポロシャツには高浜町で開催されるトライアスロン、セーリングに取り組む赤ふん坊やがデザインされている。



国体PRポロシャツ

# 議員と語るう会

次回より議員と語るう会では、毎回テーマを設け各委員会ごとで開催となりました！  
今まで同様、各会場参加自由です。皆様のご意見&ご参加お待ちしております！

## 人口減少問題対策調査特別委員会

今回のテーマ  
「高浜町への移住、定住問題と  
促進について考える」

11月8日(水)19:30~21:00

● 高浜公民館 2階会議室  
井上委員長、大塚副委員長、児玉委員、釣本委員、  
上尾委員、廣瀬委員、小幡委員



## 総務産業常任委員会

今回のテーマ  
「城山周辺整備及び、  
高浜漁協についての意見交換」

11月15日(水)19:30~21:00

● 事代自治会館  
山本委員長、西野副委員長、大塚委員、井ノ元委員、  
磯部委員、横田委員、粟野委員



## 厚生文教常任委員会

今回のテーマ  
「今後の保育所問題と  
子育て支援について」

11月19日(日)13:30~15:00

● 和田保健福祉センター  
廣瀬委員長、井上副委員長、児玉委員、釣本委員、  
上尾委員、小幡委員、渡辺委員



## 編集後記

実りの秋を迎えました。

高浜町では心配された台風18号の被害も最小限で本当に有難い事と思っています。

高浜町議会では、町民の皆さんとの対話を大切に、常任委員会、特別委員会などのメンバーにより、テーマを設け、語らいつの場を企画しております。

是非、この機会に我が町の課題について大いに語り合ひましょう。

文責 (大塚ひとみ)

## 広報特別委員会

委員長	釣本 音次
副委員長	児玉 千明
委員	磯部 武史
	井上 順也
	西野 朋宏
	大塚ひとみ